

新聞を読んでいると、近頃お年よりの社会に対する不満や、苦境をつづられたものを目にする事が多くなった気がする。核家族化で老夫婦だけ、または伴侶に先立たれ、一人で余生を送る人も多いようだ。高齢化社会だからこそ、お年寄りが元気で楽しく生活できる空間がもっと必要だと思う。

自動車の通行するすぐ横をお年寄りの運転する電動車椅子が通行し、接触するのではないかと思うことがたびたびある。日本の道路はとても狭い、さらに自動車をメインに造られているので歩行者や自転車、電動車椅子の通行する区間は限られてくる。自動車の普及率がますます増加するとおもう。自動車だけでなく、自転車や歩行者の通路を拡張することが必要だと思う。そうすることにより歩行者や電動車椅子の安全が確保される。拡張するスペースがないのなら、道路の植栽を取り除き、歩道を広げたり、現在福岡市で問題となっている放置自転車の解決策とし駐輪所を設けたりしてはどうだろうか。しかし、道路の植栽は騒音、温暖化の防止、景観の向上などの効果がある。私は屋上緑化を普通のマンションなどにも自治体で取り組めば、道路の植栽のかわりになるのではないだろうか。